

技術評価証

【技術名称】

突起付きH形鋼（ストライプH）を軸方向鉄筋の代替とした深礎基礎部材

【依頼者】

J F E スチール株式会社

【有効期間】

下記発行日から5年間

【技術評価】

技術評価委員会は、評価を依頼された「突起付きH形鋼（ストライプH）を軸方向鉄筋の代替とした深礎基礎部材」に関する評価対象項目について厳正かつ慎重に審議を行い、以下のとおり評価した。

突起付きH形鋼（ストライプH）を軸方向鉄筋の代替とした深礎基礎部材の耐力および変形性能は、以下に示される適用条件において、2022年制定コンクリート標準示方書設計編（土木学会）に記載の鉄筋コンクリート棒部材モデルによる計算値の水準を上回ることを、正負交番載荷実験から確認した。

【本技術の適用条件】

(1) 主鋼材比^{※1}: 0.6%～5%

※1: 深礎基礎部材断面に対するストライプH断面積の比

(2) ストライプHの配置間隔: ストライプH断面全高の2倍～10倍

(3) 深礎基礎部材の帯鉄筋比: 0.15%以上

(4) 適用するコンクリート^{※2}の圧縮強度の特性値: 24～38N/mm²

※2: ドライエリアでのコンクリート施工を前提とする

(5) 深礎基礎部材の曲げせん断耐力比^{※3}: 1.44以上

※3: 2022年制定コンクリート標準示方書設計編（土木学会）に記載の棒部材の設計せん断耐力 V_{yd} と、最大耐荷力点に相当する曲げ耐力 P_{md} を曲げモーメントと軸力を受ける部材の設計断面耐力から算定した値との比 ($=V_{yd}/P_{md}$)

以上

令和8年7月10日



公益社団法人

土木学会

会長 小澤 一雅

